

【テーマ】「大学図書館におけるDX ～身近なテーマの深掘りや課題の共有～」

【主催】図書館分科会 活動報告

日時：2021年12月17日（金）15:00 -16:30
場所：オンライン分科会
出席者：69名

1. 研究内容

図書館分科会では、「大学図書館におけるDX ～身近なテーマの深掘りや課題の共有～」をテーマとして今年度第2回目となるオンライン分科会を開催しました。

図書館分科会を企画する運営委員校（神田外語大学、龍谷大学）に加え、2大学様（大阪市立大学様と帝京大学様）をゲストにむかえての、パネルディスカッション形式での意見交換を行いました。意見交換においては課題の深掘りや課題の共有を目的として2つのテーマ（1.非来館型図書館サービスのありかた、2.データ活用）を設定しました。パネリスト校からの取り組み紹介があり、さらには、Slido(インタラクティブにQ&Aやライブ投票を行えるクラウドサービス)を活用し参加者の意見を聞くなど、活発な意見交換となりました。

2. スケジュール

15:00 分科会開始

はじめに（企画メンバー挨拶）

パネルディスカッション形式の意見交換

「パネリスト校」:

- ・大阪市立大学
- ・神田外語大学
- ・帝京大学
- ・龍谷大学

「内容」

- 大学紹介
- 第1回分科会（7月20日開催済）事前アンケート結果の共有
- パネルディスカッション形式の意見交換

【テーマ】

- 1.非来館型の図書館サービスのあり方
- 2.データ活用

おわりに（企画メンバー挨拶）

16:30 分科会終了

3. 参加校 [24校36名] ・参加企業[2社33名] ・参加総数[69名]

大阪市立大学 [3]
大阪歯科大学 [1]
鹿児島大学 [1]
神奈川大学 [2]
関西大学 [1]
関西学院大学 [2]
神田外語大学 [2]
関東学院大学 [1]
共立女子大学 [1]
工学院大学 [1]
産業能率大学 [1]
専修大学 [2]

中央大学 [1]
中部大学 [1]
津田塾大学 [3]
帝京大学 [1]
東京都市大学 [1]
東京農業大学 [1]
東京富士大学 [1]
白鷗大学 [1]
福岡女学院大学 [1]
立命館大学 [2]
龍谷大学 [4]
麗澤大学 [1]

株式会社セールスフォース・ドットコム [1]
富士通Japan株式会社 [32]

4. 所感 (図書館分科会)

7月に開催した「大学図書館におけるDX」のアンケート結果で、ご好評をいただいた点に加えてより具体的な事例や深掘りをご希望されるご意見を多くいただきました。それを受けて、同じテーマでの第2回目を企画し、大阪市立大学様、帝京大学様にもご登壇いただき、運営委員の所属大学に加えた4大学からの事例やご意見をお話しいただくことができました。

後半はパネルディスカッション形式で、非来館型サービス（宅配貸出、オンラインレファレンス、オンラインガイダンス等）、データ活用（ログ・履歴データの活用、利用者サービスへの展開等）について、経緯・現状・今後について様々なご意見を伺うことができました。あわせて、リアルタイムでアンケートが行えるサービス（slido）を利用し、ご参加の皆様とのコミュニケーションや意見交換の促進にも取り組んでみました。

世の中でも、あるいは大学業界でもDXは重要なキーワードとなる中、大学図書館でも理解を深めて取り組んでいく必要があると考えています。今回の企画が、ご参加の皆様にとって少しでもアイデアの素になればよかったです。

多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

【分科会の様子】



【事務局より】

次頁以降に開催後アンケート結果（抜粋版）を記載しています。

開催後のアンケート結果詳細版や当日プレゼン資料ご覧になりたい方は、「[CS研・IS研情報交換サイト](#)」に掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

「CS研・IS研情報交換サイト」について

○CS研・IS研の会員向けに情報・資料をご提供し、会員の皆様で情報交換をする会員専用のサイトです。

（新規入会ご希望の方は、右下の事務局まで、お手数ではありますがご連絡ください。）

URL : <https://www-std01.ufinity.jp/csiken/>

○情報交換サイトをご覧になるにはIDとパスワードが必要となります。お持ちでない場合は以下のサイトにてお申込みください。

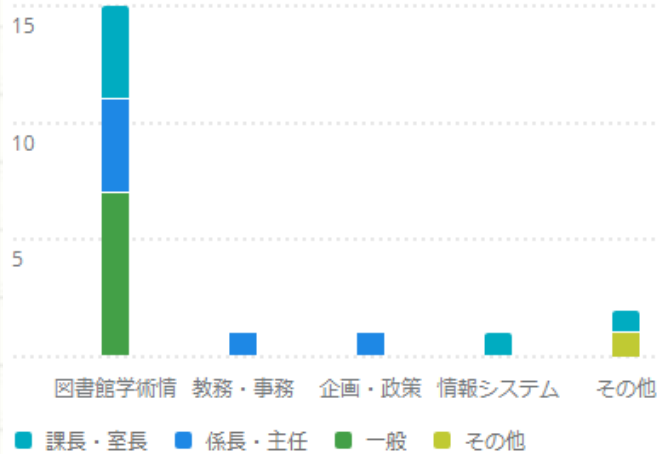
お申込みサイト : <https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/46757>

【連絡先】

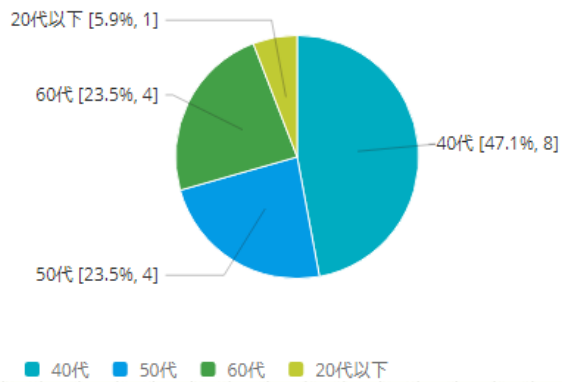
私立大学キャンパスシステム研究会 事務局
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
富士通Japan株式会社 デマンド創出・カスタマリレーション部内
E-mail : fj-csken-secretary@dl.jp.fujitsu.com

開催後アンケート結果 【回答数／対象者数：20／36（大学関係者のみ）】

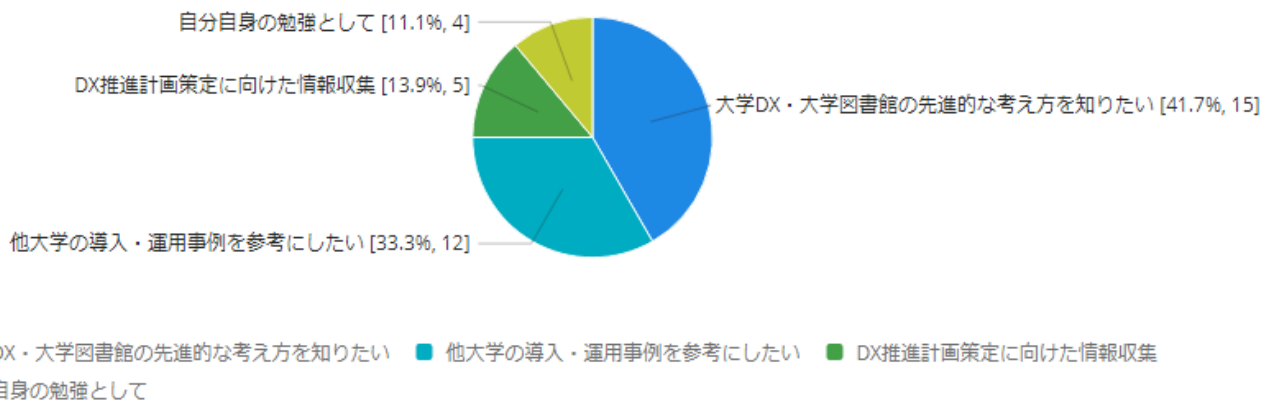
■ 担当業務と役職について



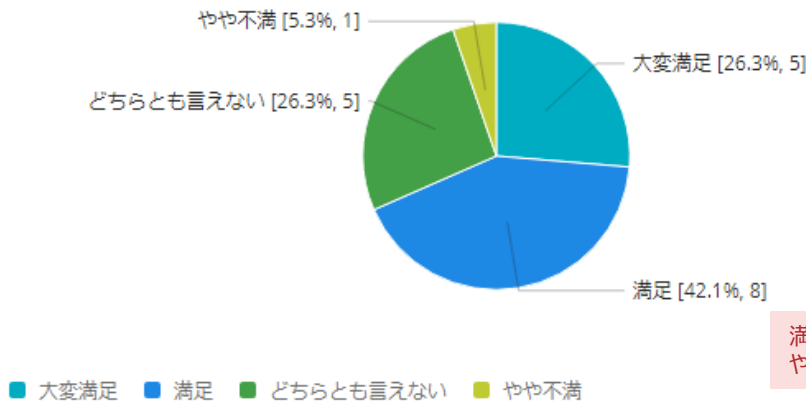
■ 参加者の年齢層について



■ 参加した目的について



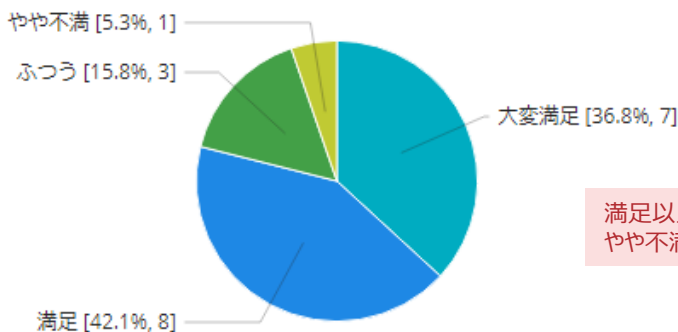
■ 本日の分科会の全体満足度



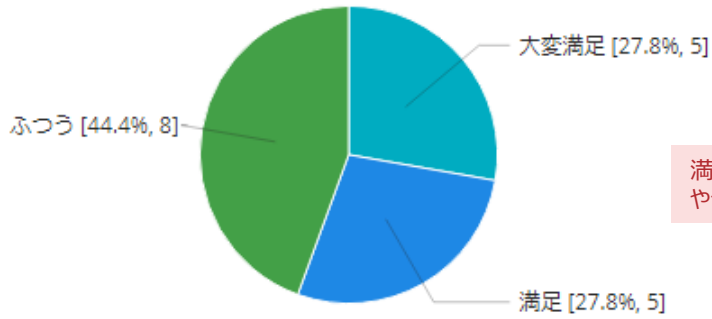
■ 全体満足度の評価理由について(一部省略)

- 図書館に配属されたばかりなのでとても勉強になりました。
- とてもわかりやすかった。他のオンラインでは、説明が早すぎたり、司会進行が進めていくので、聞いているだけで、資料に目を通せない。今回は、とても聞きやすかった。
- 他大学の事例をお伺いできる、貴重な機会となりました。
- 大学図書館に関わる方の率直なご意見を拝聴できましたので本学の図書館でも生かせるかと思いました。
- 内容が一般的に知り得ている情報で、もう少し踏み込んだ内容を期待していたため
- コロナ禍によってDX化が進んだ面があるが、コロナの収束によって元に戻ってしまうのか、オンラインと対面のハイブリッド化が進むのか、図書館サービスにおいてはできれば後者のように進めたい。コロナ禍における各館の状況をお伺いできたのと、DX化が進むほど来館者が減る傾向にある中で、「図書館に辿り着く仕掛けを作れないか」というご発言が特に印象に残った。
- 郵送サービスの継続について他大学の意見を聞くことができた。また、ログの収集について図書館システムベンダーや電子リソースの提供元に要望や相談することがあるが、実現が難しい現状が続いていたので、前向きな話が聞けて良かった。
- 他大学も同様なことを考えている…ということが分かったので。また、考えられることは、それほど多くの種類があるわけではないこともなんとなくわかったので。
- 当初ご案内いただき想定していた内容とは異なりましたが参考になりました。ありがとうございました。
- 図書館のweb貸出サービスを導入したものの、利用率が芳しくなく対面に切り替えた、という話題提供があり、どの大学様もDX化に苦心されていると感じたため。

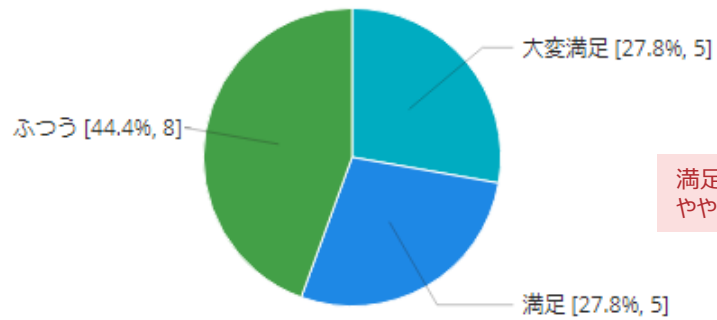
■ 開催テーマについて



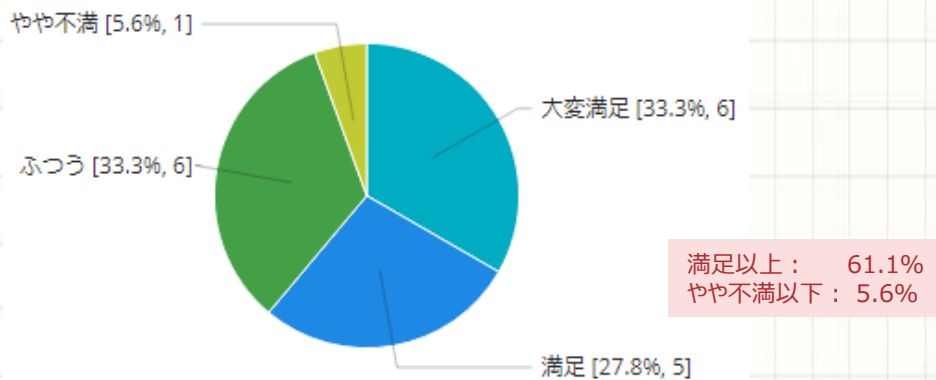
■意見交換について



■時間配分について



■当日の運営について



■CS研の来年度活動テーマは本年同様に「キャンパス×デジタルトランスフォーメーション ～持続可能な大学を考える～」です。来年度活動において、実施してほしいイベントなどありましたらお書きください。(一部省略)

- 新進的な海外大学の取組事例を知りたい。
- ・図書館におけるDX化（未来につながる取り組み） ・SDGsを利活用した大学運営
- スマホ等の機器の活用（図書館利用促進 オンラインも含めて）、外部データベースの利用状況の把握（図書館システム側からは難しいか…）

■CS研についてのご意見・ご要望について(一部省略)

- 常に新しいツールをうまく活用できていると思います。堅苦しくない雰囲気が最大の武器だと考えます。引き続き、最新情報（事例）を提供頂きますようお願いいたします。
- オンラインで参加者も増えたということを書いていましたが、参加しやすく、運営もスムーズなので、今後も続けてよいと思う。
- 複数の大学による意見交換は継続的に行ってほしい。毎回得るものがある。